

なかしゅんべつ

2010

7

No.390



目次

第36回中春別農業協同組合通常総会2～3	女性部のページ……………12～13
就任の挨拶…………… 4～5	各組織役員名簿……………16～17
退任の挨拶…………… 6～7	新職員の紹介……………20～21
第35回酪対総会……………10	理事会…………… 25

今月号の「わが家のアイドル」は石森家の2兄妹です。大好きな自転車に乗り大はしやぎの煌規君と生後半年の穂郁ちゃん。お父さんのような優しい人になってほしいな。

健全な酪農経営と組合財務基盤の強化に取り組み

「活気と潤いに満ちた ゆとりある中春別に全力注ぐ

第36回中春別農業協同組合通常総会(正組合員数271人)が
6月3日、農業者団地センターで開催されました。



総会に先立ち優良組合員、乳質改善・良質乳生産組合員、経営移譲感謝状授与者、永年勤続職員の表彰、新規就農激励状授与が行われました。

開会にあたり竹田組合長より「国内の農業は、食料自給率の低下や農業所得の減少、国際化の進展など、経営環境の悪化や高齢化により、生産基盤の弱体化が進んでいるのが現状であります。

このような中で、3月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」では、食糧自給率を10年後に50%まで引き上げ、意欲ある多様な農業者の育成や、戸別所得補償制度を導入するとありますが、生乳生産については従来の928万トンから800万トンへと、大幅に下がる内容となっています。酪農畜産にあたっては、



昨年10月、チーズ価格が改定され、プール乳価で2円40銭の値下がりとなりました。また、枝肉価格についても、依然、低迷が続いている状況であります。

平成22年度の酪農畜産政策・価格対策については、加工原料乳生産者補給金単価



はキロ当たり11円85銭に据え置かれたものの、限度数量は10万トン削減の186万トンとなり、チーズ・生クリーム等の対策は引き続き実施されることになりました。

が、土地盤整備予算が大幅に削減されるなど、これらを乳価に換算いたしますとおよそ80銭の減額となり、不満の残る結果となりました。

肉用牛対策については一部事業の統合はありましたが、これまで同様に実施されることになりました。

本年度は平成22年から平成27年度を目標とした地域



農業振興計画である『地域農業ステップアップ計画』と、平成24年度を目標とした『第8次中期経営計画』を樹立し、『担い手の育成』を始め、引き続き『農業経営の再構築』と『組合財務基盤の強化』などを柱に取り組んでまいります。

第36回 中春別農業協同組合通常総会



組合員の生産基盤の充実に力を注ぎ、外的要因に左右される今日の酪農畜産ですが、怯むことなく立ち向かい、一步一步着実に健全な酪農経営並びにJA運営を築き、スローガンであります『活気と潤いに満ちたゆとりある中春別』の振興に全力を注ぐ所在でございます。どうか、組合員皆様のご支援を含めて、宜しくお願ひ申し上げます。

結びになりますが、行政を始め、系統連合会、並びに各関係機関に対

しまして、今後とも、より一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げますと挨拶がありました。

引き続き根室振興局産業振興部農務課長・得地秀幸氏、別海町長・水沼猛氏、ホクレン農業協同組合連合会中標津支所長・鳴海清三氏よりそれぞれ挨拶をいただきました。

議長には美原地区・山崎浩二氏、中春別地区・小原義男氏が指名され議事に入りました。

議案第一号平成21年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認から議案第10号信用業務規程の一部変更について提出され、全議案可決承認されました。

閉会にあたり、小湊副組合長より大変先行き不透明感が漂うなかでございますが、承認をいただきました平成22年度の基本方針、そ



して、重点項目の実現達成に向けまして役職員一体となつて取組んでまいりる所存でございますので、組合員皆様方におかれましては、より一層の組合の結集と連携をお願いするところでございますと挨拶がありました。



平成21年度 優良組合員表彰者 (有)U・S・F

平成21年度 乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

高井 猛正、木原 誠、藤原 清

経営移譲感謝状贈呈者 紫藤 正幸、北村 金治

永年勤続職員表彰者(30年勤務) 友貞 義照

新規就農激励状贈呈者 青木 豊樹



組合長就任にあたって

代表理事組合長 小湊 保

組合長の就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

春先の低温、日照不足により、牧草の生育が懸念されておりましたが、6月に入り好天に恵まれ牧草生育も順調に回復し平年以上の収量が見込まれる中、良質粗飼料の確保を目指し一斉に一番草の収穫調整作業が始まりました。

去る6月3日に開催されました、第36回通常総会に於いて提出致しました、全議案原案通りご承認をいただき組合員の皆様方には改めてお礼申し上げます。また、本年は、役員改選が行なわれ竹田前組合長、南澤前代表監事、丹羽前専務が勇退されました。長年に亘り組合事業運営の先頭に立ち舵取りをして戴いた労に敬意を表する所でございます。総会終了後、理事会の

互選により、不肖私が組合長の大役を仰せつかり、その責任の重さを痛感している所でございます。

然しながら酪農を取り巻く環境は転換期を迎えており、新たな食料、農業、農村基本計画が3月末に策定され、食料自給率50%、生乳生産目標数量800万トンが示されており。また、酪肉近代化基本方針も7月上旬に策定される見通しで、内容は克服すべきものとし、チーズ向けの生乳拡大、消費者の多様なニーズ対応等があり、家畜改良目標はこれまでの脂肪率上昇から生涯生産性等に修正をされました。これら10年後の酪農の方向性を指すにあたり、短中長期に多くの諸課題が国内外に控えています。宮崎県において、酪農の根幹を揺るがす口蹄

疫が10年振りに発生し27・6万頭以上の殺処分がされ、6月18日以降は新たな発症例もなく、一部移動制限区域も解除されている所でしたが、7月4日に292症例が確認され、終息まではまだ時間のかかるものと思われ。酪農、畜産の生産地の当農協としても、浸入防止の防疫体制を今後とも継続して行かねばなりません。更には乳製品の消費低迷による需給ギャップ、枝肉価格の低迷、FTA、EPA農業交渉の行方、23年度に向けての酪農版所得補償の議論、JAグループに対する規制改革等、先行き不透明感が漂っている経済情勢、社会環境の中で新役員も組合員とともに事業や組織活動の実践の中で営農や暮らしの諸問題を推し進めて行かなければなり

本年も冷夏予報の中で、6月後半には気温上昇が見られ、牧草の伸びもようやく平年並みまで成長し、安堵しているところでございます。7月に入り一番牧草の収穫作業も順調に進められ、組合員ご家族の皆様には、ご健勝にて多忙な毎日をお過ごしのことと、推察申し上げます。また、宮崎県で発症した口蹄疫の甚大な被害は、同じ畜産を扱う地帯として脅威を感じるとともに、1日も早い終息を願っているところでございます。

さて、私この度、第36回通常総会並びに同日開催されました理事会におきまして、専務理事の重任を拝しました。2期6年間、常務理事(信

用事業担当)として努めさせていただきます。この間、組合員皆様のご指導と多大なるご理解があつてのことと感謝を申し上げます。就任後、ひと月余り経ちますが、改めて専務理事という職位の重責を日々感じているのが実感であります。

今回の役員改選では、地域酪農の発展、農協組織基盤の強化に多大なご尽力を賜りました。竹田前組合長、南澤前代表監事、丹羽前専務が勇退され、新しく小湊組合長のもと、新体制がスタートしたところでございます。農業を取巻く諸情勢・環境が急速に日々変化をしている中、更にステップアップする姿勢をテーマとした



専務理事就任にあたって

専務理事 佐藤 猛

『何を求めているのか、何を提案し何が提供できるのか』



常務理事就任にあたって

常務理事 大山 武永

ません。
本年度の総会でご承認いただきました、地域農業ステップアップ計画は、前回推進して参りましたチャレンジ精神を継続しながら、担い手育成と組合員の主体的な取り組み、生産性の向上、草地基盤に立脚した経営展開等の充実と強化に向け樹立いたしました、第8次中期経営計画の実践と実現に向け「活気と潤いに満ちた

ゆとりある中春別酪農郷」を目指し取り組みで参ります。組合員の皆様方には、より一層のご理解とご協力を



戴きます様心からお願ひ申し上げます。

地域振興計画・第8次中期経営計画を基本に、組合員皆様は何を求めているのか、何を提案し何が提供できるのか、常々心に置きながら、小湊組合長を始め役員と共に課せられた任務の遂行に全力で取り組んでまいります。農協組織における外部環境においても、社会の情勢変化に伴う組織対応が求められ、法規制の改正を始めとする指導体制の強化、

部門別採算性、内部管理、員外利用規制等々に対する組織の健全化、社会的役割に応える組織としての体制整備を一層取り組んでいかなければなりません。
課題山積する中、新たな決意のもとに専心職務に精励いたす所存でございます。どうかご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

実践と反映、信頼のJAづくりを

農繁期に入りお忙しい毎日の中、組合員の皆様におかれましては、益々ご清勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、この度の第36回通常総会において、学識経験理事に選任され、総会後の理事会で常務理事(信

用事業担当)の大任を拝しました。もとより微力であり、責任の重大さを痛感しておりますが、新体制のもと、役員共々職務の遂行に全力で取り組んでまいりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

私は、昭和56年、当組合に採用していただき、以来29年間、職員として各部門で仕事をさせていただきました。この間、組合員の皆様を始め、役員方々のご指導と多大なるご理解により支えられて今日に至りましたこと、感謝を申し上げます。今後は、役員として、気を新たに地域農業の振興、信頼される農協運営にあたつてまいる所存でございます。

さて、酪農畜産に係わる諸情勢が、短時間で目まぐるしく変化する中、総会において本年度をスタートとする地域農業振興計画「地域農業ステップアップ計画」、農協「第8次中期経営計画」のご承認をいただきました。まずは、これら計画を着実に実践していくことが、いかなる諸情勢に耐え得る強い農業経営の基盤をつくり、その支援の要と成り得る強固で健全な農協運営を築くことが、地域のスローガンであります「活気と潤いに満ちたゆとりある中春別」の振興への近道と考えております。そして、これらの推進

にあたっては、今一度原点を見つめ直し、「組合員が必要とする農協事業」の創出と実践、そのための「組合員の声」の反映、このことを基本に取り組んでまいりたいと思っておりますので、組合員皆様のさらなるご理解とご協力をお願いするところでございます。
終わりになりますが、時節柄お忙しい毎日ではありますが、特に農作業事故には十分気を付けられ、組合員並びにご家族皆様のご繁栄を心よりお祈り申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。



組合長退任にあたって

前代表理事組合長 竹田 國男

好天続きの中、放牧の牛達も伸び伸びと育まれる時期となりました。牧草収穫を迎えて組合員の皆様には多忙な毎日かと思えます。

さて、この度任期満了による役員改選において農協理事を退任いたしました。退任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

平成22年度第36回通常総会に対し組合員の皆様には、大変忙しい中ご出席をいただきご承認くださいましたことに改めて深く感謝申し上げます。

役員改選は推薦委員会構成により選任制の実施であり、各組合員が農協の在り方、役割りについて真剣な論議がありました。

組合員の役割、義務等農協を見つめ直す良い機会であったと思います。推薦委員の皆様、農事組合長の皆様には大変なご苦勞であつ

た事と厚くお礼申し上げます。就任された新役員の若い力に期待をしているところであります。

日本経済はバブル経済崩壊後、相次ぐ金融機関の破綻等デフレ経済の進行の中、景気回復につながる好材料は見当らず厳しい状況が続いております。酪農畜産においてもWTO、FTA農業交渉の行方を始めとして、

BSE、口蹄疫などの疫病対策、食の安全問題、生乳需給の緩和傾向と牛乳、乳製品の販売不振という近年にない厳しい状況が続いており、生産基盤の弱体化の進行が危惧される情勢に直面しております。

新たな食料、農業、農村基本計画が示され平成32年度の自給率目標を50%と位置付け、農業構造の展望では「家族農業経営を主体に多様な農業者の育成」・「戸別所得

補償制度の創設」・「農業・農村の6次産業化を進め地域資源環境の保全を推進」等が盛り込まれました。

このままでも何とかなるという安易な安心感と期待感が見受けられますが、これ等先行き不透明な酪農環境下にある今日、対処出来る意識改革と自己責任による経営改善が強く求められております。

前回のチャレンジ計画を活かしながら「守りから攻め」の気持ちでテーマとし、「地域振興ステップアップ計画」を主軸とした営農支援システムの遂行に取り組み、経営コストの低減、経営体質の強化を構築しながら、良質乳生産を通じた消費者から信頼される安心で安全な生産物を提供出来る地域として発展する事を期待致します。

最後になりますが、3期



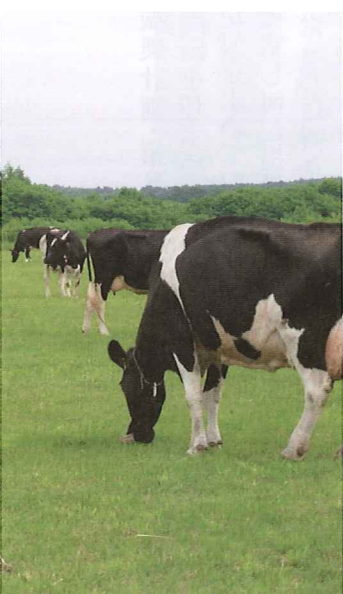
退任挨拶

前代表監事 南澤 三郎

この度6月3日の役員改選に伴い5期15年間勤めさせて頂きいただきました監事職を退任いたしました。組合員を始め役職員の皆様に支えられて15年間曲がりなりにも大過なく過ごすことが出来ました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

監事の役割は理事の執行体制の監査、組合の事務処理の監査など理事者とは異なる職務ではありますが、組合員のためになが出来るのか、理事者と意見交換をしながら事業推進を進めておりますが、しかし、最近組合に対する監査体制は益々強化されており、平成7年就任当時の外部監査は道の

常例検査と中央会の指導監査であったが、中央会の監査から全国監査機構になり、新たに内部審査があり、最近では内部監査室が義務化されております。その間、一方、人事では員外監事の起用や常勤理事3人体制に伴い学識経験者理事の義務化など組合改革が行われてまいりました。一方、員外利用率の規制があり、今後は独禁法からの除外や公認会計士の起用などが議論されており、組合に対する規制が一層厳しくなると思われませんが、組合員をはじめ役職員の益々のご活躍とご健勝をお祈りして退任のご挨拶といたします。



退任の挨拶

9年間の農協組合長在任中につきましましては、組合員の皆様そして役職員の皆様には「一方ならぬご懇情とご指導、ご協力をいただきましたこと

と心から厚くお礼を申し上げます。今後につきましても微力ではございませんが、地域発展のため努力して参り

度いと思しますので、これまで変わらぬ一層のご指導を賜ります様お願い申し上げます。退任のご挨拶と致します。ありがとうございます。



退任にあたって

前専務理事 丹羽善實

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

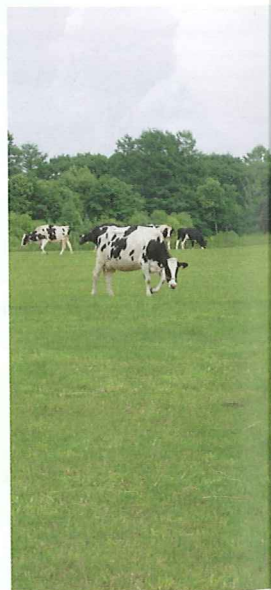
牧草の収穫作業に入りましたが、事故なく良質な粗飼料が確保され良質な生乳生産に結びつきますこと期待しております。さて、去る6月3日開催の第36回通常総会における役員選任において、任期満了にともない退任させていただきます。もとより力はございませんし何の取り柄もない私ではございましたが、平成16年6月専務理事の重任を押し、竹田組合長をはじめ役員と共に課せられた任務の遂行に取り組んでまいりまし

た。しかし、就任当初から健康不安があり任期を全うできずかどうか心配しておりましたが、2期目に入り持病の悪化にともない入院や通院を余儀なくされ、多くの皆様に変なご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。何とかリタイヤせず最後まで任務を遂行できたこと、お許し願いたいと思えます。顧みますと私は昭和44年に旧根釧パイロットファーム開拓農業協同組合に採用していただき、以来41年間勤務できましたことは組合員、ご家族の皆様はもちろん、役員をはじめ関係機関の皆様

の賜と心から感謝申し上げます。41年間の勤務でしたので様々な出来事や思いがあり、その中からいくつかを記してみたいと思います。
①昭和46年12月「中春別酪農センター」が完成し、新しい事務所業務を開始したこと。
②昭和49年7月、旧中春別農業協同組合と合併し、新農協が誕生して仕切り壁が取り外され、大きな事務所になったこと。
③昭和50年代に入り、組合員の強い要望により農作業の受委託事業を立ち上げ生産現場で組合員のご苦勞を

実感できたこと。
④昭和59年からの農協経営再建整備を経験したこと。
⑤平成12年度を目標とする「10・10・100運動」を掲げた長期ビジョン企画書の策定業務を担当し、平成13年度には生乳生産10万トン、翌14年度で総販売額100億円が達成したこと。
⑥平成7年から6年間、自家生産物加工研究グループの協力で牛肉の商品開発を推進し、「牛牛詰」の商標登録を取得したこと。
⑦平成16年10月、農協合併30周年を祝う記念式典と祝賀酪農祭を盛大に開催したこと。
⑧平成19年5月、南根室5JA合併検討の経過を踏まえ、組合員の合意を得て自立の道を選択したこと。

と実感しております。これからは皆様からのご教示を大切に、健康に留意して生きがいのある人生を歩んでまいりたいと思っておりますので、今後とも変わらぬご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。大きな転換期を迎えている中で、新たな協同の輪を広げ農業の振興と地域づくりを推進するため、ご承認いただいた地域農業「ステップ・アップ計画」並びに第8次「中期経営計画」を実践し達成することが重要であると思っております。
新体制のもと小湊組合長を先頭に、組合員と役員が団結して中春別農業と農協が益々ご発展することを念願しております。
終わりに、組合員・ご家族並びに役員の方々の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。大変失礼ながら誌上をもって退任の挨拶とさせていただきます。



ひたいに光る汗、はじける笑顔！

第43回 豊原 合同体育大会

地域のみんなで育てたスポーツがあります。アイディアいっぱい運動会もあります。いきいき、はつらつと活躍する人たちの明るさが、地域をおこし、活力をみなぎらせています。



旧豊原小学校グラウンドにて豊原合同体育大会が6月5日(土)に実施されました。
 毎年、地域で開催されています初夏のイベントで、保育園児から熟年の方まで幅広い方々が趣向を凝らしたいろいろな競技に参加をされました。午前10時の開催とともに午前中に15種目の競技が用意され、参加された方はグラウンドでとびきりの笑顔と汗を流しました。競技では親子で参加をするものもあり、園児とお父さん、お母さんが手を取りグラウンドを走る姿に観客からは歓声と笑いが溢れていました。
 午後からは、お腹が減ったところで地域の方が焼肉を囲みながらの懇親会。会話も弾み地域の皆さんは一番草の忙しくなる前の一時を、地域一体となって楽しめました。



中春別小学校 大運動会

スポーツが地域を元気にしています

子供たちが待ちに待った中春別小学校大運動会が6月12日(土)に開催されました。

昨年は長雨の影響で2日遅れとなりましたが、今年は打って変わって日傘が欲しいほどの晴天に恵まれました。今年も趣向を凝らした競技が多数用意され、まずラジオ体操で身体を柔らかくしてから暑さの中、子供たちは自分の出番をまだかまだかと待ちわびています。まず、全校児童が出場する徒競走から始まり、午前中に14種類の競技が実施されました。昼になるとお腹を空かした児童が父さん、お母さんのもとへ一目散に向かつておいしい弁当でお腹を満たし、しばしの休憩をとりました。

午後からは運動会の定番であります綱引き、リレー競技、参加された子供たちは日頃の練習の成果を十分に発揮していました。綱引きでは子供たちだけではなく、大人も参加しての地区対抗綱引き競技、子供たちの声援の中、負けてなるかと互いに綱を持つ手にも力が入り、気持ちのいい汗をかいたのではないのでしょうか。優勝は白組となりましたが、子供から大人まで1年間の一大イベント「大運動会」を楽しんだのではないのでしょうか。



中春別酪農対策協議会第35回通常総会

牛舎からの生産者の声を 国政に陳情・要請し反映させる



中春別酪農対策協議会(会長・望月英彦)では、6月8日農業者団地センタートレーニング室において、第35回通常総会を開催いたしました。

開催にあたり望月会長より「何とか1年間終わらせていただきました。世界ではオバマ政権の発足、日本では政権交代という大きな節目、その中におきまして酪農対策協議会がどのように活動したら良いか、いかにして牛舎からの生の声を消費に還元させるべく運動を変えていかなければならないか、転換に戸惑った1年でした。30年振りの引き上げ、その後、期中引き下げがありました。また、政権交代で民主党の展開の仕方、要請がでなくなるなど、大きな問題を残しながら平成21年度を終らせていただきました。

活動内容は、衆参両院の

先生方に2度程上京、また、農林水産省畜産課と特に生乳関係の問題に対して要請運動、意見交換会をさせていただきました。更に青年部におきましては、乳価の決定の大変な時期に上京していただき、熱い心を農水省に伝えていただいたことを心から感謝申し上げます。



最後にありますが、口蹄疫の義援金を皆様方に提案しますの、よろしくお願ひ致します」と挨拶が述べられました。引き続きJA中春別小湊保組合長、別海町議会議員西原浩氏より挨拶をいただき議事へと入

りました。

議長には中春別地区・内藤宏幸が選出され、議事の中では「政権政党が変わり要請に対するプロセスも工夫が必要とされた。当酪対として、酪農協会との関わりや方向性、運動展開の対応などの方針を聞きたい」「根室管内の独自性や会員参加の施策提案が今後の運動として重要と考

える」と意見が出されました。

議案第1号から議案第4号まで可決決定されました。

平成二十二年度の新役員構成は次のとおりです。

- 会長 望月英彦(再)
- 副会長 伊藤一吉(新)
- 副会長 山崎浩二(再)



- 副会長 小原義男(再)
 - 会計 松井和孝(新)
 - 監事 渡邊 覚(新)
 - 監事 鬼澤玄造(再)
 - 監事 村井広美(再)
- 本年度も昨年同様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

余裕のある農作業計画をたてよう

J A 中春別青年部（石森裕治部長）では、6月8日（火）農協大会議室において農作業安全講習会が行われました。

根室農業改良普及センター坂口普及員を講師に招き行われ、初めに全国の農作業死亡事故の内訳が説明され、農業機械作業での事故が70%占め、機械



による転倒、転落事故を占めていて、原因として直接的にはよそ見、携帯電話、タバコで、間接的にはあせり、疲れ、寝不足が多く、中春別の事例は牛舎内の事故が多く発生していると説明がありました。

最後に事故を防ぐには、余裕を持った作業計画をたて、作業と休憩のメリハリをつける。また、機械を駆動させたままの整備や修理などの作業は危険です。機械の修理をする時には機械を止めてから行って欲しいとのことでした。

全国共済農業協同組合連合会北海道本部より交通安全指導車輦が寄贈されました。

全共連北海道本部より、地域における交通事故対策の課題に対応し、社会貢献活動として交通安全指導車輦が当JAに寄贈されました。

安全・安心な地域づくりに向け有効活用させていただきます。



地域内初のTMRセンターを視察

豊原酪農振興会、美原酪農振興会合同で現地視察勉強会を6月7日（月）開催いたしました。

豊原酪農振興会、美原酪農振興会交流



今回の現地視察勉強会では、当農協地域内で初めて美原に完成したTMRセンター合同会社グリーンコンプリートサーブスの視察と豊原・美原酪農振興会の交流と親睦を深めるため合同での開催となりました。

TMRセンターの視察では、山田代表より「7月末より餌の供給を予定していますが、今回の事業については、農協根室改良普及センター、農業開発公社などの協力をいただき、すべての条件が良く、丁度良いタイミングで事業が進められました。

構成員の労働力軽減と後継者問題等将来のことを考え、地域酪農を守るため皆で協力していきます」と挨拶が述べられた後、農業法人のメリット、施設、作業体系などの説明をしていただきました。

参加した会員は、作業体系や草地更新はどのように



考えているか、作業機械などの更新はどのように考えているかなど質問をされていました。

視察終了後、場所を美原ゆうゆうホールに移動し、各振興会の会員が焼肉を囲みながら和気あいあいとした雰囲気の中、皆さん話も弾み、箸も進んでいました。お腹が一杯になったところでビンゴ大会がおこなわれました。

短い時間でしたが、振興会会員同士の親睦と交流を深めることが出来たと思います。参加者の皆さんお疲れ様でした。

障がい者をみんなで支えあう社会

ボランティア組織そよかぜ（久保二大会長）と農協女性部（畠山友子部長）の合同講習会を6月10日（休）行いました。

今回は講師に別海町社会福祉協議会の猫塚氏と西塚氏に来ていただき、「車イスの操作方法と体験」と「視力障害のある方の手引き方法と



体験』を行いました。

当日は曇り空ながらも暖かい天候だったので、室内での簡単な説明

後に車イスを外に出し外での講習となりました。まずは、2人1組になり車イスを押し体験。慣れない車イスに悪戦苦闘しながらも講師の方のお話を聞きながら砂利道や坂道に挑戦しました。次に一人で乗り片方の手足を使えないようにして、自分で操作してみました。片手だけで操作するので皆さん「難しい！」「自分の行きたい所になかなか行けない」と言いながら操作していました。次に、アイマスクをつけて、杖を持ち視力障害の疑似体験に挑戦です。2人1組になり、腕を組みながら誘導し、段差や坂道を体験しました。目が見えないことでいつも軽々と通っていた階段や段差もとても怖く感じました。

講師の西塚氏から「障がいのある人は、自分ひとりで行動するのは大変です。もし町で見かける事がありませんでしたら声をかけてあげて下さい」とお言葉がありました。

今回の講習会を通して、障がいのある方の疑似体験を行うことで障がいのある事の不便さや大変さを実感することができました。今後のボランティア活動に活かしていける講習会となりました。

ご協力いただいた皆さん、参加された皆さんお疲れ様でした。

木の実部会・園芸グループ

寄植え講習会

6月11日（金）、木の実部会・園芸グループでは、合同主催による寄植え講習会を開催しました。今回はしれとこフラワーファームで開催し、たくさんの花の中から好きな花を数



一方向からきれいに見えるように植えるのか、どの方向から見てもきれいになるように植えるのかで鉢の出上がりも違います。お花の高さで並びかたを変えてみたり、同じ系統の色で鉢を作ったり。先生曰く、「白を入れるとアクセントになり、綺麗に見える。」との事。玄関先に花を飾るだけで景色が明るくなりますね。好きな花を手に取り、部員同士見せ合いながら、納得の鉢を作り上げました。

本選び、鉢に植えていきます。参加者はみんな毎年のように植えている人ばかりでお花選びもなかなかのもんです。鉢の植え方も、



生活の中に花のある暮らしを



色とりどりのお花で花壇を飾ろう

暖かい日差しの中、農協前花壇整備を5月31日(月)行いました。午前中の作業にも関わらず部員14人が参加し、雑草抜きと土起こしを行った後、約1000株のマリーゴールドやサルビアなどのお花をきれいに植えていきました。農協女性部では毎年部員の皆様

と一緒に花と緑にかかわる活動として、1年を通して美しい花壇づくりを行っております。今後、女性部の手により、花壇の草取りなどの作業を行うなど心のこもった手入れが続けられ今年一年中花が絶えることなく、花壇づくりを続けていきたいと思っています。

JA根室地区女性部研修会



JA根室地区女性部研修会が中標津町のウェディングホール寿宴にて6月14日(月)開催されました。今回は講師に水沼和子さんと、瀧場明美さんを招きデコクレイづくりを行いました。ケーキの型の土台に花やリボン、リング、ラズベリーなどを乗せていく作業でみんな真剣になっていました。薔薇の花は講師の方に教えてもらい、自分たちで粘土から作ったものです。

本格的なデコクレイづくり



初めて作る方が多かったのですが出来上がりはどうでしょうか？
出来上がりの作品を見せ合ったりと、部員同士の交流もできた研修となりました。



わが家の

アイドル

中春別地区・石森 ^{こうき} 煌規くん
^{ほのか} 穂郁ちゃん

- 家族構成 7人家族
- 父 石森 裕治さん
 - 母 真里さん
 - 長男 煌規くん(3歳)
 - 長女 穂郁ちゃん(7カ月)
 - 祖父 石森 典夫さん
 - 祖母 たき子さん
 - 曾祖母 石森 ミツさん



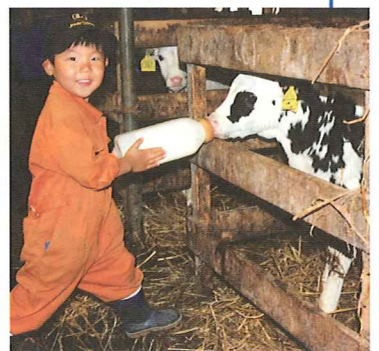
いつも走り回って元気いっぱい煌規くん
穂郁ちゃんは愛想の良い子に育って欲しい

チャイムを押して「こんにちちはー!」と言うと1番最初に迎えてくれたのは煌規くん。あとからお母さんの真里さん。家の中にお邪魔すると茶の間でお父さんの裕治さんが穂郁ちゃんを抱っこして待っていました。穂郁ちゃんは初めて見る人に緊張気味なのか、あまり笑

つてくれません。煌規君も少し緊張気味? おぼあちゃんの後ろに隠れてしまいます。そんな煌規君に「いつも何をして遊んでいるの?」と尋ねると、「外で自転車に乗ったりして遊んでる!」。実際に外に行つて、いつも遊んでいるという自転車を見に行きました。外に出ると

家の前を走って、自転車を物置に取りに行くお父さんを追いかけて行きます。そして、楽しそうに自転車を乗りまわしているのを見て、お母さんに抱っこされていた穂郁ちゃんもにっこり。みんな家の中に入ると遊び足りないようで、「まだ遊ぶ!!」と煌規君。今日は土曜日なので保育園はお休み。普段の休日はおじいちゃんの後をついて牛舎に行ったり、大好きなトラクターに乗せてもらったりお手伝いしているそうです。当日、おじいちゃんは外でお仕事の最中。取材が終わつたらおじいちゃんのところに行くのかな?。

お父さんとお母さんに穂郁ちゃん、と聞くと「穂郁はまだ小さいからどんな子かわからないけど気が強そう。煌規は『マイペース』とお母さん。『保育園は嫌いだ。大変』との事。『保育園に行くときすぐ遊びに走って行くの?』と聞いて「まだ遊んでないの!」と答えてくれる。お父さんが笑いながら話してくれました。「あと、優しいかな?」とお母さん。「氣遣いだったり、神経質だったりお父さんに似ているところがある」と話してくれました。お母さんは三重県出身で結婚して4年経ちました。お父さんは釣りが趣味で「最近忙しくて行けない」との事。今年のGWは旭山動物園に行ったり、札幌の親戚の家に行ったり家族旅行を楽しんだり、家族サービスは忘れません。そんなお父さんお母さんに「煌規君と穂郁ちゃんにどのようになんて育てたいですか?」と質問。「そのままがいい。煌規は優しく素直でいてほしい。穂郁は女の子なので愛想がいい子だったらいいです」と答えてくれました。



第26回年金友の会通常総会・ 春季スポーツ交流会

長より挨拶をいただき、続いて来賓に小湊組合長、北海道信連釧路支所JAバンク推進課長であります山田課長より祝辞をいただきました。

議長には中春別地区の高橋昌晴さんが選出され、就任の挨拶では議長を務めるにあつての意気込みを、明るく、笑いを交えながらの楽しい挨拶にしていたいただき会場は終始和やかに。その後、



明るく、笑いを交えての 総会、スポーツ交流会



まず始めに当総会の開会にあたりまして渡辺栄顕会
中春別農協年金友の会(会長・渡邊栄顕)では、6月10日に第26回通常総会と春季スポーツ交流会を行いました。出席者91人と昨年よりも多くの出席をいただき、総会を開催することができました

さつそく議事に取りかかりましたが、昨年在役員改選年だったということもあり今回は大きな議題はありませんでしたが、高橋議長のスムーズな取り進めにより議事は順調に進み、議案第1号から第3号まで全て可決されました。

議事終了後は別海町役場福祉課より講師に斉藤美智子氏を招き、「高齢者在宅福祉サービスについて」という題目で講演会を開催いたしました。お年寄りの方が元気で若々しく生活していくために必要な適度な運動や食生活、生きがい作りなど町で提供しているサービス事業について詳しく説明していただきました。終了後の質問タイムで、その場での質問は出なかったものの、その後に「これはどうやったらいいの?」などと興味を持った方々が直接講師の先生に聞いている場面もちらほら見受けられました。

総会終了後は、毎年恒例となつております春季スポーツ交流会へと移動しました。当日は曇り空だったものの気温は高く、ちょうど良い温かさの中、スポーツ交流会が開催されました。今回はパークゴルフ・ゲートボールともに、たくさん参加者が集まり、各グループに分かれて熱い勝負を繰り広げました。



パークゴルフでは、今年初となる方も多かったようであり、久しぶりに張り切りすぎてOBを出す人やカップを越え、かなり遠くまで飛ばしている人もいて混戦になることが予想されました。その結果、女子の部では同点優勝が4人となり、スポーツ交流会では初めてとなるプレーオフが行われるなど今年の交流会は見ごたえのあるものになりました。



ムみなんで協力してお互いのミスをかばいし合っている姿が目立ちました。悪いプレーの時には厳しく、良いプレーの時には褒めあうなど、どのチームも良いチームワークを見せ、全員で高得点を目指し頑張っていました。今回もゲートボールは市街地区の塩谷浅次郎さんに進行していただき、無事終了することができました。

最後になりますが、今回も総会・スポーツ交流会を通じてたくさんの方々に参加していただき、大変嬉しく思っております。次回の行事でも、また元気な姿で参加していただけることを楽しみにしております。



組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
良質生乳生産 推進委員会	オプザーバー	佐藤 猛	豊原連合会	代表 監事	村井 広美
	委員長	藤倉 紀夫		代表 理事	渡邊 秀彰
	副委員長	望月 英彦		代表 委員	相澤 敬治
	委員	西川 寛稔		代表 委員	島崎 忠義
	委員	小湊 保猛		代表 委員	猿谷 秀将
	委員	佐藤 一吉		代表 委員	芳中 幡直
	委員	伊藤 邊浩		代表 委員	小根 本春
	委員	渡山 崎二		代表 委員	根本 湊均
	委員	熊谷 修男		代表 委員	小平 林治
	委員	小原 橋悟		代表 委員	平安 達美
	委員	高杉 谷康		代表 委員	安片 野介
	委員	兼松 真珠		代表 委員	佐藤 修一
良質粗飼料生産 利用対策委員会	委員長	西川 寛稔	美原連合会	副会長	賣場 利国
	副委員長	遠藤 倉均	中春別 町内連合会	副会長	上野 孝史
	委員	藤倉 紀夫		副会長	高野 孝房
	委員	望月 英彦	離農跡地活用検討 委員会	代表理事	平井 慈夫
	委員	伊藤 一吉		代表理事	久慈 幸裕
	委員	山崎 浩二		代表理事	藤山 幸夫
	委員	熊谷 修男		代表理事	山藤 猛永
	委員	小原 藤幸	(有)中春別 マシンセンター	代表理事	大佐 武保
	委員	内藤 森裕		代表理事	兼松 幸秀
	委員	石片 野大		代表理事	奥山 紀夫
	委員	片野 大介		代表理事	藤山 武
	豊原酪農振興会	会長	伊藤 一吉	(有)ジェイエー ・ワンブ	取締役
副会長		遠藤 均	取締役		兼松 幸秀
書記		渡田 充次	取締役		奥山川 寛稔
会計		北口 豊次	取締役		西佐藤 青史
委員		伊藤 一吉	農事組合法人 中春ミルクファーム	取締役	荒青 保裕
委員		藤崎 英三		取締役	兼松 幸貴
委員		高井 五三		取締役	中西 彦英
委員		眞下 雅人		取締役	望月 正幸
委員		中村 貞芳	別海町農業委員	代表理事	佐藤 正幸
委員		花岡 孝樹		代表理事	兼松 幸夫
委員		齋藤 貴志		代表理事	奥山 紀真
委員		野矢 貴志		代表理事	藤平 貴司
美原酪農振興会	会長	山崎 浩二	中春別農協農業 後継者対策協議会	会長(理事会)	藤倉 紀夫
	副会長	内山 琢明		副会長(理事会)	奥山 幸秋
	事務	佐藤 浩弘		豊原地区	高田 嘉子
	計事	所澤 勝玄		豊原地区	久保 朋夫
	監事	鬼谷 知智	美原地区	馬場 文好	
	監事	熊谷 知智	美原地区	尾形 好枝	
	委員	小原 義男	中春別地区	富永 松太郎	
	委員	原内 宏幸	中春別地区	佐々木 貴子	
	委員	内藤 幸悟			
	委員	高橋 真			

平成 22 年度

中春別農協・各組織役員名簿

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
理 事 会	代表理事組合長	小 湊 保	中春別農協女性部	監 事	千 葉 悟
	副組合長理事	兼 松 幸 裕		部 部長	島 山 友 子
	専務理事	佐 藤 武 猛		副 部長	久 保 川 優 子
	常務理事	大 山 武 永 夫		副 理 事	浮 奥 山 和 美
	理 事	藤 倉 紀 幸		理 事	佐 藤 清 美
	理 事	奥 山 秀 英 彦		理 事	西 原 珠 美
	理 事	中 西 川 貴 司		監 事	北 澤 真 由 美
監 事 会	代 表 監 事	平 井 真 一 史	中春別農協 年金友の会	会 長	渡 邊 栄 頭
	監 外 監 事	荒 藤 青 正 幸		副 会 長	浮 川 和 代 子
総務経済委員会	委 員 長	奥 山 秀 幸 裕	中春別農協 改良同志会	副 会 長	佐々木 信 子 夫 吉 成
	委 員	兼 松 西 貴 司		監 事	内 鈴 木 口 總 茂 成
営農生産委員会	委 員 長	藤 倉 紀 夫 彦 稔	中春別乳牛 改良同志会	会 長	山 田 博 和 潤 好 男 優 紘 二 学 裕
	委 員	望 月 英 寛		副 会 長	竹 田 中 山 吉 和 修 靖
労 務 委 員 会	委 員 長	小 湊 保	農 事 組 合 長 会	北 区 区 区 一 二 葉 丘 進 里 酪 別 糸 水 別 岡 成	伊 藤 一 吉 優 策 則 秋 修 夫 弘 造 治 也 勝 松 太 郎 夫
	委 員	兼 松 幸 裕 猛 永 幸 彦 吉 二 男 稔 均 明 修 治 哉 琢 子 友 子 子 覺 造 美		中 東 南 南 よ ま 緑 み 新 中 平 菊 春 富 平	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
中春別酪農 対策協議会	会 長	望 月 英 彦 吉 二 男 稔 均 明 修 治 哉 琢 子 友 子 子 覺 造 美	中春別乳牛 改良同志会	代 表 監 事	高 橋 靖 二 学 裕
	副 会 長	伊 藤 一 浩 義 寛 浩 裕 琢 子 友 子 子 覺 造 美		副 理 事	佐々木 一 吉 優 策 則 秋 修 夫 弘 造 治 也 勝 松 太 郎 夫
	副 副 会 長	山 崎 原 川 藤 藤 内 森 子 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
	常 任 委 員	小 西 遠 佐 原 石 金 松 井 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
	常 任 委 員	遠 佐 原 石 金 松 井 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
	常 任 委 員	佐 藤 内 森 子 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
	常 任 委 員	原 石 金 松 井 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
	常 任 委 員	石 金 松 井 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
	常 任 委 員	金 松 井 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
	常 任 委 員	松 井 和 孝 (会 計) 山 友 子 子 覺 造 美		理 事	白 紫 久 高 吉 熊 内 所 鬼 佐 相 大 平 上 富 小
中春別農協青年部	部 長	石 森 裕 治 哉 孝 康 武 司 介 志 徹	中春別乳牛 改良同志会	組 合 長	小 湊 保 裕 夫 彦 稔 一 史
	副 部 長	金 子 井 谷 松 西 野 矢 形		副 組 合 長	兼 松 倉 月 川 井 荒
	理 事	杉 兼 小 片 野 尾		理 事	兼 松 倉 月 川 井 荒
	理 事	兼 小 片 野 尾		理 事	兼 松 倉 月 川 井 荒
	監 事	兼 小 片 野 尾		代 表 監 事	兼 松 倉 月 川 井 荒

営農対策情報

根室農業改良普及センター

乳牛へのカルシウム足りていますか？

牛乳は「カルシウム」の豊富な健康飲料です。牛乳パック1リットル中には、およそ1グラムのカルシウム（以下Ca）が含まれています。



① 乳牛のCa不足による疾病
乳牛のCa貯蔵割合は、骨に98%血液や体組織中に2%程度と言われています。Caの給与量が少ないと骨へのCaの蓄積量が減少します。骨の蓄積量が少ないまま分娩すると、乳熱等の代謝病が多くなる可能性があります。

② 乳牛のCaの必要量

乳牛の乳量水準別のCa要求量を示します（表1）。この表による乳量水準40kgのCa要求量は167gです。次に飼料給与例（乳量40kgレベル）からCaの供給量を示します（表2）。

表2 乳量水準40kgレベルの飼料給与例とCa供給量

	現物	乾物	乾物中Ca濃度(%)	現物Ca量(g)
1番草サイレージ	40kg	10kg	0.3	30
乳配	10kg	9kg	0.7	63
ピートパルプ	2kg	1.8kg	1.2	22
リンカル剤	100g	100g	22.0	22
合計				137

表1 乳牛のCa要求量

乳量水準	Ca要求量
20kg	94g
30kg	131g
40kg	167g
50kg	209g

(日本飼養標準1999年版)

このCa供給量では137gとなり、要求量167gを満たすことができません。

③ Ca供給方法の検討

Caの供給を増やすには、粗飼料のCa濃度を上げる事や直接Ca飼料（リンカルや飼料用タンカル）を多くする事が必要です。粗飼料のCa濃度を上げる方法としては、草地への石灰散布が効果的です。

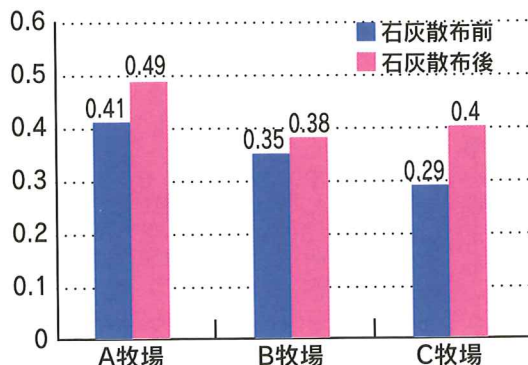
昨年、別海町4Hクラブ連絡協議会で石灰散布の試験を行いました（図1）。試験は石灰質資材を10アール当たり（散布量が）120kgになる量を散布しました。

散布後、牧草成分中のCa



図1 4Hクラブのプロジェクト活動
草地へのタンカル散布

濃度が向上しました（図2）。
図2 石灰散布前後の粗飼料成分中のCa濃度（乾物中%）の違い



粗飼料成分中のCa濃度を低下させないためには、更新後3年目からの継続的な石灰散布（30〜40kg/10アール）が効果的です。

④ 今年の1番草分析・飼料計算をしてみましょう

乳牛に必要なCaがあたっているか、粗飼料分析や配合飼料との組み合わせによる飼料設計を行ってみたいかがでしょうか。

飼料設計を希望される方はJAか普及センターまでご連絡下さい。

3カ月間の試採用期間を終え7月1日付けで新採用となった職員をご紹介します。

また、試採用期間中に行われた農家実習についてご紹介します。



営農生産部
営農振興課
河合 崇之

この度、中春別農協の営農生産部営農振興課に配属することになりました。河合崇之です。私は今年の3月に酪農学園大学を卒業し、中春別農協に採用していただきました。先日、酪農実習として奥山理事のお宅にお



世話になりました。私は酪農学園を卒業したものの経営学科だったため、酪農に対する知識が少なく、酪農家の仕事かどのようなものかとおまかにしか知りませんでした。そのため今回の実習では多くの事を学べた

のではないかと感じます。

奥山理事、奥さん、明範さんのもと搾乳、除糞、給餌などいろいろなことを経験させていただきました。ご迷惑をかけた部分もあったとは思いますが、そのなかで良質な乳を搾るには良い環境が大切であること、そのため朝と夕方の除糞、清掃がいかに大事であるか、搾乳の仕方などたくさんのごとを学びました。ありがとうございます。今回の実習では4泊5日という短い期間ではありましたが、酪農家の仕事の大変さが一部ではあります。今後は少しでも組合員さんのお役に立つためにもまだまだ勉強する事が山積みではあります。精一杯努めていきたいと思っております。ご宜しくお願い致します。



営農生産部
畜産販売課畜産指導係
目黒 佑摩

この度、畜産販売課畜産

指導係として配属された目黒佑摩です。私は試採用期間中に畜産販売課の方で仕事をしていたのですが具体的にどういうことをするのか正直まだわかりませんが、一つ言えることはこれから組合員さんの皆様と関わる

ことが多くなると思っていますので、迷惑をかけないように頑張りたいと思います。6月7日から11日までの5日間、私は農家実習で中西理事のお宅で実習させて頂きました。私は、牛に触れたことがあったのですが、農作業はまったくやったことがなかったので出来るか不安でした。5日間の中で私が手伝わせて頂いたのは、朝と夕方の搾乳、育成舎へのエサやり、牛舎掃除、草刈りや、洗車などを行いました。搾乳ではやり方がわからない私に丁寧に教えてくれたのですが、最初はなかなか上手いはず、迷惑をかけてしまいました。農作業の一つ一つがものすごく大変で、細かい仕事だと実習を通してわかりました。

今回、いろいろなことを経験して酪農という仕事は



私が思っていたより大変で難しい仕事だという事がわかりました。この経験を生かし今後は農協職員として早く仕事を覚えて、そして皆さまの役に立てるよう頑張っていこうと思っております。そして最後に、今回お世話になりました中西理事、ご家族の皆様、本当にありがとうございました。



購買部
購買課生産資材係
猿谷 彩佳

この度、7月より中春別農協の購買部購買課生産資材係として採用されること

になりました猿谷彩佳です。

6月7日から11日まで、兼松理事のお宅で農家実習を受けさせていただきました。私は今まで農家の仕事を体験したことがなく、どのような事をしていいのかわかりませんでした。今回の実習で初めて農家の仕事を体験し、いろいろなことを教えていただきました。

私が手伝わせていただいた仕事は搾乳や牛舎の掃除、子牛の給餌です。どの仕事も私が想像していた以上に大変で、体力を使うものばかりでした。特に搾乳は牛と牛の間に入り体を密着させて搾るのでとても難しく感じました。始めのうちはどの仕事にしても上手いかず失敗ばかりで、兼松理事やご家族、従業員のみなさまにたくさんご迷惑をかけてしまいました。しかし、わからない事を丁寧に教えていただいたおかげで、少しずつ仕事を覚えることができました。また、普段は体験できない農家の仕事に携わり、実際にお話を聞くことでたくさん学ぶことができました。出来るかどうか

新職員の紹介



らないことでも、まずはやってみる。挑戦をしていくことが大切なのだと思えて感じました。そして大変なことでも最後までやり遂げることで、喜びや感動が生まれるということを知りました。

今回の農家実習で体験し、学んだことを活かしてこれからの業務に役立てていきたいと思えます。このような環境のもとで学ばせていただいたことに感謝しています。兼松理事とご家族のみなさま、とても親切にしてくださいまして、本当にありがとうございます。まだまだわからないことばかりですが、今後は早く仕事を覚

え、中春別農協の職員として地域に貢献していけるよう、今まで以上に精一杯頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



総務部
管理課管理係
小山古都子

この度、中春別農協の総務部管理課に配属されました小山古都子です。

今年度、女子はいろいろな課を回ることなく最初から貼り付けで試用期間を過ごすことになりました。最初は農協の雰囲気にもあまりなじめることができずに不安ばかりがあり、心配でしたが3カ月経った今は慣れることができました。

そして先日、藤倉理事のお宅で農家実習をさせていただきました。実家が酪農業を営んでいるということもあり牛に対する恐怖感などはまったくなかったため、実習はとても楽しかったです。ただ、パーラーは初めてだっ



たのでうまく搾乳できるかが心配でした。

朝と夜の搾乳以外にもいろいろな手伝いをさせていただきました。搾乳は最初なかなか慣れず目が回って大変でしたが慣れると搾乳がとても楽でした。今回の農家実習は実家との違いを感じてやっていたので特にそう思いました。

実習の期間中は家族の皆様にご迷惑をかけながらだったのですが、優しく指導してもらったおかげでこの5日間は楽しく充実して過ごすことができました。藤倉牧場の皆さん、ありがとうございました。至らない部分も多々あると思いますが、中春別の皆様のために精一杯頑張りますのでよろしくお願います。



総務部
金融共済課貯金係
加藤 芽衣

3カ月の試用期間を経てこの度、7月より金融共済課貯金係として正式に採用されることとなりました。加藤芽衣です。試用期間中は窓口業務や、貯金伝票の入力作業を主に行っていました。最初は窓口のお客様への対応や、端末操作の仕方などわからないことだらけであたふたしてばかりでしたが、仕事を何度も繰り返して慣れていくにつれ内容を少しずつ理解しながらスムーズに処理することが出来るようになってきた気がします。

6月7日から11日まで農家実習で西川理事のお宅にて実習させていただきました。内容は、朝と夕方の搾乳、牛舎掃除、給餌を行いました。私は農家の仕事について、今回の実習まで全くといっていいほど知りませんでした。大変そうとは思ってしまし

たが、実際に体験してみると予想よりもはるかに大変なことばかりでした。私はただ草をよせるだけでも息を切らしてしまうほどでした。見ることも体験することも初めてでとまどいがちな私にも親切に仕事の仕方を教えてくださり、また貴重な体験をさせていただきました。とても感謝しています。西川理事をはじめご家族の皆様、本当にありがとうございます。

今回の実習をきっかけに、組合員さんのお仕事とその大変さを身をもって知ることが出来たと思います。今後はこの実習で学んだことを生かし、農協職員としての自覚をもち少しでも組合員さんのお力になりたいと感じました。少しでも早く仕事を覚えられよう、精一杯努力していきたいと思





第23回 成年クラス

ホルスタイン写真 コンテスト

乳牛改良同志会(山田博和会長)では、毎年好評
であります「ホルスタイン写真コンテスト(成年クラ

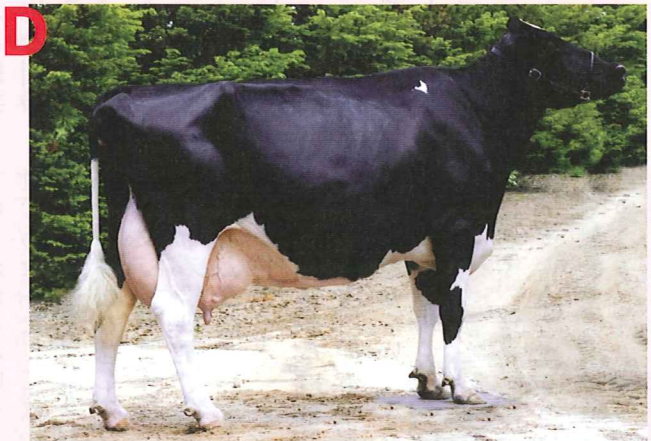
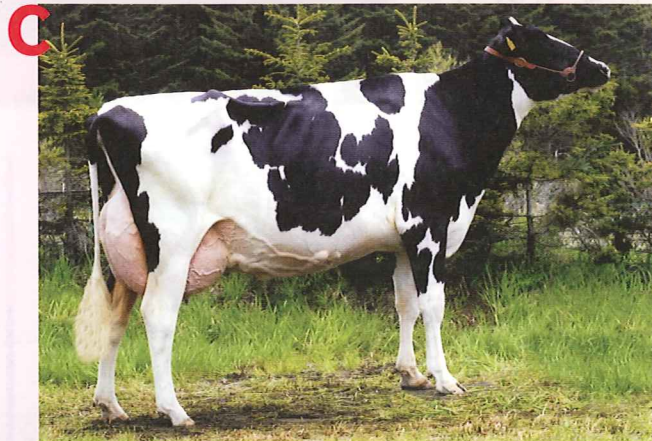
ス乳器)」を行いますので、投票要項に注意してお早
めに多数応募して下さい。

予想投票応募要項

- 1.同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行
い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。
- 2.全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈
致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決
定致します。
- 3.住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、
投票用紙を畜産販売課(畜産指導係)または、授精
師にお渡し下さい。

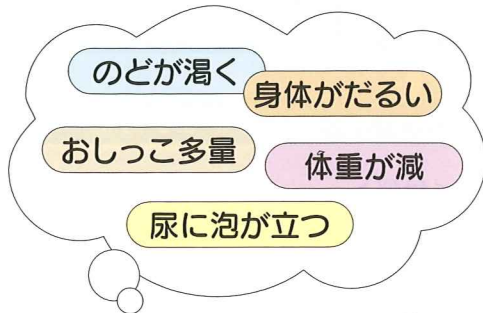
FAX76-3006

- 4.応募メ切は、7月23日(金)となっておりますので 期
日厳守にて応募して下さい。

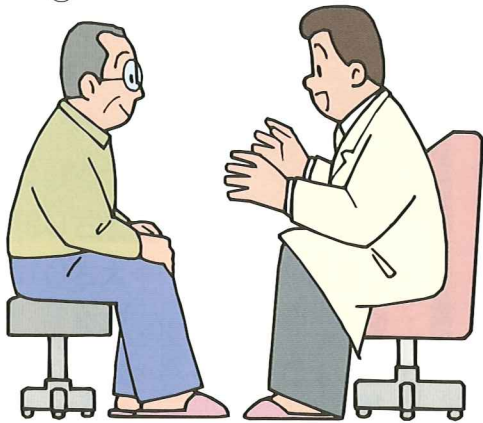


「症状がないから大丈夫！」 とっていませんか？

みなさんが思う 糖尿病の症状は？



通常 空腹のときの血糖値は110mg/dlを超えないものですが、170mg/dlを超えて尿に糖が出る。250mg/dl以上で、おっしょるような症状がでます。下の困りも糖尿病の症状であることがあります。



- ・物が見えづらい
- ・ぼんやり見える
- ・胃の調子が悪い
- ・下痢と便秘をくり返す
- ・冷える、ほてる、以上に汗をかく
- ・疲れていないのに足がつる
- ・手足のしびれ
- ・足の感覚の違和感
- ・手足がむくむ
- ・尿に蛋白が出る
- ・胸痛
- ・ろれつが回らない、めまい
- ・物忘れ

これらの症状は、見逃されることが多く糖尿病の方の**3人に1人**は自分が**糖尿病だと気づいていない**と言われています

血糖値は巡回ドックで調べられます。調べてみませんか？

8月31日、9月1日がJA中春別巡回ドックの日程です

巡回ドックのお申し込みはJA中春別 TEL76-2241 FAX76-2341

この記事への質問等は別海町民保健センター特定健診担当 TEL75-0359

牛魂祭及び農作業安全祈願祭が6月8日行われ、参列者による玉串法奠が執り行われました。

例年、JA中春別乳牛共進会の開催に先立ち行われていましたが、4月20日に発症した口蹄疫の終息状況になく、同じ酪農畜産を基盤とする地域において各種の催し物の開催を自粛しているため中止となり牛魂祭及び農作業安全祈願祭の玉串法奠となりました。

一番草の収穫作業へ突入りし毎日、多忙を極めていることと思いますが、しっかりと休養をとりけがや事故のないよう十分に気をつけてほしいと思います。



牛魂祭及び農作業の安全祈願祭が執り行われしました

JA中春別女性部からの
今月のおすすめ!メニュー

作者：久保 朋子



鮭のオイスターソースいため

つくりやすい分量

<材料>

秋鮭(生) …………… 300~400g
水菜…………… 100~150g
しょうが…………… 1片

オイスターソース

酒…………… 大さじ1~1と1/2
片栗粉…………… 大さじ2
ごま油…………… 大さじ1と1/2
塩…………… 適量
こしょう…………… 適量

下ごしらえ

なし

作り方

- (1) 鮭はひと口大に切って、塩、こしょうとごま油(分量外)をふっておく。
- (2) 水菜はよく洗って水を切り、3cmに切っておく。しょうがはみじん切りにする。
- (3) オイスターソースと酒をまぜ合わせておく。
- (4) フライパンにごま油を入れ、しょうがを炒めて香りが出たら、片栗粉をまぶした鮭を加えて、色がつくまで炒める。
- (5) (4)に(3)を加え、全体になじませたら水菜を加えてサッと火を通す。
- (6) 味を見ながら、塩、こしょうを加える。

※レシピ作者からのコメント

主人が秋鮭釣が大好きで、変化がある食べ方がしたい思っていた時に、ラジオ番組で聞いた他の魚のレシピを応用して作りました。

第5回・第6回・第7回 理事会のうごき

平成22年6月3日(木) 平成22年6月7日(月)
平成22年6月17日(木)

第5回理事会 平成22年6月3日(木)

- 議案**
1. 代表理事組合長の選任について
 2. 副組合長理事の選任について
 3. 専務理事・常務理事の選任について
 4. 役員構成について
以下、原案通り承認

第6回理事会 平成22年6月7日(月)

- 議案**
1. 役員構成について
 2. 平成22年度理事報酬額の配分(案)について
 3. 平成22年度役員報酬の支払時期について
 4. 退職理事に対する退職慰労金の支給について
 5. 生乳生産調整に係る枠配分について
以下、原案通り承認
- 報告事項**
1. 役員会議22年度用途別乳価について

第7回理事会 平成22年6月17日(木)

- 議案**
1. 育児および介護休業規程の改正について
 2. 第13回「宵の市」の中止について
 3. 平成21年度行政業務報告書の提出について
 4. 固定資産の取得について
 5. 信用供与等の限度額の変更について
 6. (有)別海町酪農研修牧場

- への資金貸付について
リース契約について
購買業務規程の改正について
- 議案**
7. 平成22年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
 8. 平成22年度特定指導組合員担当理事・職員(案)について
以下、原案通り承認
 9. 協議事項
 10. 戸別所得補償制度の組織討議について
- 報告事項**
1. 組合員加入について
 2. 職員の退職について
 3. 職員の人事について
 4. 学識経験理事(職員登用)に係る退職金等の支給について
 5. JA全国監査機構監査の実施について
 6. リース契約について
 7. 平成22年5月末営農生産関連実績について
 8. 中山間地域直接支払制度事業に係る別海町集落準備委員会の準備委員について
 9. 共和育成牧場預託牛の事故に対する互助会規程による見舞金の支払について

5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支乳	前年	差	
乳脂肪分		769.970		29.35	30.62	-1.27	
無脂乳固形分		470.962		41.07	42.78	-1.71	
補給金		5.2542		5.25	5.53	-0.28	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	325,730,306.4kg	3.74	3.73	0.01
		ランク2	0	7,623,913.7kg			
		ランク3	-3	239,838.1kg			
	体細胞数	ランク1	2	288,942,342.1kg			
		ランク2	1	24,258,331.4kg			
		ランク3	-2	2,978,552.4kg			
合計				79.41	82.66	-3.25	

5月分乳代支払単価

項目	単価(円)/kg%	
乳脂肪分①	29円35銭	
無脂乳固形分②	41円07銭	
補給金③	5円25銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	3.93%
	農協	4.02%
無脂固形分率	全道	8.72%
	農協	8.72%
成分乳価	全道	75円67銭
①+②+③+④=⑤	農協	76円35銭
乳質乳価⑥	全道	3円74銭
	農協	3円69銭
乳代合計	全道	79円41銭
	農協	80円04銭
⑤+⑥	差異	63銭



薄いピンクのスズラン

スズラン(鈴蘭、英名Lily of valley)は、ユリ科スズラン属に属する多年草の総称です。君影草(きみかげそう)、谷間の姫百合(たにまのひめゆり)の別名もあります。

強心肺糖体のコンバラトキシン、コンバラマリン、コンバロシドなどを含む有毒植物。有毒物質は全草に持ちますが、特に花や根に多く含まれています。摂取した場合、嘔吐、頭痛、眩暈、心不全、血圧低下、心臓麻痺などの症状を起し、重症の場合は死に至ることもあります。山菜のギョウジャニンニクと外見が似ていることから、過って摂取し中毒症状を起こすことが稀にあるようです。また、スズランを活けた水を飲んでも中毒を起こすことがあり、これらを誤飲して死亡した例もあります。

スズラン属の日本在来種はConvallaria keiskeiのみであり、本州中部以北、東北、北海道の高地に多く自生していますが、この地方ではワラビと同時にどこにでも見られます。北海道を代表する花です。ちなみに花言葉は「幸福の訪れ」「純潔」。フランスでは、花嫁にスズランを贈る風習があるそうです。

編集後記

▼6月下旬に入り良質粗飼料確保のため、1番草収穫作業がスタートしたことと思いますが、別海町では2件の農機具による火災が発生いたしました。作業を始める前にもう一度整備、点検などを十分にご注意してください。また、日々の仕事に加え収穫作業が重なり疲労、負担が蓄積されてきていることと思います。くれぐれも体調管理、事故には気をつけてください。

▼6月よりサッカークワールのワールドカップが始まり寝不足が続いていることと思いますが、日本は決勝トーナメントに駒をすすめ、惜しくも敗退いたしました。たくさんの勇気と感動をいただきました。

▼今月号のくみあいだよりでは、3カ月間の試用期間を終え7月1日付けにて本採用となったフレッシュな新人を紹介しました。若い力をフルに発揮し、農協、また組合員のためにしっかりと頑張ってください。

▼第36回中春別宮農協同組合通常総会が開催され、承認をいただきました。平成22年度基本方針、重点項目の実現達成に向けてまして役員一体となり取り組んで参ります。また、今回勇退された役員の方々は本当にご苦労様でした。